

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価									
				目標数値	実績数値	達成率	目標数値	実績数値	達成率	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員が事業所を訪問し、経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善をはかり、健全な企業を育成するとともに、経営改善に資する指導を行う。	巡回窓口指導実企業数231社 巡回窓口指導延件数682件 課題解決提案件数20件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 104.9%)			課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			課題解決提案案件の中で補助金の申請提案を行うことができ、採択に繋がった。また、コロナ禍における資金繰りや税制改正におけるインボイス制度の相談が多く、多岐にわたる指導を実施できた。			総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果 A	満足度	補足	目標①	目標②	経営課題に対して的確に対応して業務向上に繋げるために、課題解決提案件数を引き続き目標に掲げる。
				目標数値	650	実績数値	682	目標数値	20	実績数値	20	A	必要性			現行どおり		現行どおり				
				目標達成度	A	B	現行どおり	現行どおり														
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	指導対象事業所数 66件 指導延日数 382日 指導延回数 805回	小規模事業者	指標	対象事業所数 (達成度 110.0%)			(達成度 %)			正しい記帳方法の指導と決算・確定申告を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付けることができた。			総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果 A	満足度	補足	目標①	目標②	経理の自計化と適正な税務申告に結び付けるとともに、現状の指導対象者数を維持する。
				目標数値	60	実績数値	66	目標数値		実績数値		A	必要性			上げる		実施方法①		実施方法②		
				目標達成度	A	A	現行どおり	現行どおり														
講習会	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙をはかり資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。経営革新セミナーを開催し、経営革新計画承認を目指すことを目的とする。	【集団講習会】 2回開催 経営革新計画セミナー講習会 参加人数5人(うち小規模5人) フォークリフト講習会 参加人数2人(うち小規模0人) 【個別講習会】 16回開催 参加人数 254人	小規模事業者	指標	集団講習会参加人数 (達成度 50.0%)			個別講習会参加人数 (達成度 77.0%)			集団講習会を2回開催。また税務に関わる個別相談会などの開催により、小規模事業者にとって必要な経営一般の知識習得ができ、事業者の資質向上をはかることができた。			総合評価 B	実施評価 C	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	集団講習会では経営革新セミナーを例年通り実施し、計画承認を目指す。また個別講習会では税務や金融を中心とした講習会を実施する。
				目標数値	10	実績数値	5	目標数値	330	実績数値	254	C	必要性			現行どおり		現行どおり				
				目標達成度	C	B	現行どおり	現行どおり														
若手後継者等育成事業	若手後継者が人々の行動や考え方を広く理解した上で、個々の経営に関する資質向上に取り組む。本事業の実施により参加者のスキルアップをはかり、顧客ニーズに対して柔軟に対応できる能力を身につけるとともに、参加者同士の情報交換を通してお互いの経営ノウハウを共有することをねらいとする。	【資質向上セミナー】 実施日：2月1日 参加人数：8人 満足度調査アンケート5段階評価のうち4「良い」以上の割合100% 【青年部全国大会】 実施日：11月15～16日 場所：熊本県 参加者：正副部長3名	小規模事業者等	指標	研修事業の参加者数 (達成度 53.3%)			満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 125.0%)			青年部が経営力向上セミナーを実施し、資質向上を目的とした研修を行うことで、個々のスキルアップに繋がった。青年部全国大会では同じ境遇の事例を学ぶことで後継者としての自覚と意識を高めることができた。			総合評価 B	実施評価 C	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も個々の資質向上を目的とした研修を通じて部員相互のスキルアップを図る。また、全国大会へ参加することで若手後継者としての意識を高める。若手後継者の活動PR動画の制作を行うため一部目標を変更する。
				目標数値	15	実績数値	8	目標数値	80	実績数値	100	B	必要性			現行どおり		廃止				
				目標達成度	B	B	現行どおり	変更する														
祭典	各種のお祭り・祭典などの開催と積極的な参画により、地域の経済活動を促進するとともに、地域の総合的な振興をはかることを目的とする。地域イベントと連携した売出し等を行い、集客力アップを目指す。	【ふじまつり】5月3～5日実施 来場者数12,400人 【おいでん夏まつり】7月9日実施 来場者数2,200人 【紅葉まつり】11月18～20日実施 来場者数36,300人 合計50,900人	小規模事業者等	指標	地域連携イベントの実施回数 (達成度 100.0%)			各まつり来場者数 (達成度 118.4%)			コロナ以降、3年ぶりに藤岡地区の3大まつりを実施することができた。各まつりが地域の産業をPRする機会となり、地域の経済活動促進に結びついた。			総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	コロナの感染状況も落ち着き、各種イベントにおける来場者の制限も緩和されている為、各まつりの来場者数の目標数値を上げる。
				目標数値	3	実績数値	3	目標数値	43,000	実績数値	50,900	B	必要性			現行どおり		上げる				
				目標達成度	A	B	現行どおり	現行どおり														
商店街・街づくり事業	まち全体を商店街と見立てて、商店街WEBシステムを推進して商店街・街づくりに寄与する。併せて商店に賑わいを創出するため、商店街・まちづくり団体への指導を行う。	商店街WEBシステムの推進 実施日：通年 実施対象：地区内の商工業者等 参加者数：10事業所	小規模事業者等	指標	商店街WEBシステム参加数 (達成度 100.0%)			(達成度 %)			商店街WEBシステムを推進し、新着情報や販売情報、地図表記をすることによって地区内外に向けて消費喚起を可能にした。			総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	DX化に対応すべく新たな展開としてクラウド型電子マネーポイントシステムの推進を図る。初年度は新システム導入のための参画事業者数を目標値とする。
				目標数値	10	実績数値	10	目標数値		実績数値		B	必要性			廃止		実施方法①		実施方法②		
				目標達成度	A	B	変更する															
雇用促進事業	就労者の確保・育成・定着促進をはかるため、就労の場の拡大や商工業等における意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	優良従業員被表彰者2名 愛知県優秀技能者表彰3名 優秀企業費表彰2事業所	小規模事業者等	指標	優良従業員被表彰者数 (達成度 70.0%)			優秀企業被表彰者数 (達成度 100.0%)			表彰された従業員のモチベーションの向上に繋がった。雇用の定着を図るきっかけとなった。今後の従業員育成においても高い効果を期待できる。			総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	企業・従業員がステータスアップするためのきっかけ作りの一環として継続して実施する。
				目標数値	10	実績数値	7	目標数値	2	実績数値	2	C	必要性			現行どおり		現行どおり				
				目標達成度	B	B	現行どおり	現行どおり														

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						目標①		目標②	
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	目標①	目標②
青年部・女性部事業	商工業に携わる青年部、女性部に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上をはかるための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。両部とも組織強化のため部員の加入増強をはかる。	青年部員加入増強20人（当初18人） 女性部員加入増強32人（当初33人）	小規模事業者等	指標 青年部員数 (達成度 90.9 %)	22	実績数値 20	指標 女性部員数 (達成度 97.0 %)	33	実績数値 32	青年部、女性部ともに目標を達成することができなかったが、部員一丸となって積極的な加入促進活動が行われ、両部の活動を周知することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	組織強化に繋げるために加入増強に取り組み。未加入者へ青年部・女性部活動をPRし加入の推進を行う。		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定をはかるために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済368口、火災共済18口、小規模企業共済91口、倒産防止共済11口、特退共30口、中退共76口 合計594口 健康診断受診者数143人	小規模事業者等	指標 各種共済加入者数 (達成度 112.1 %)	530	実績数値 594	指標 健康診断受診者数 (達成度 102.1 %)	140	実績数値 143	中小企業共済のがん共済をはじめ、従業員の福利厚生に役立つ共済の加入推進を行い、事業者の安定的な発展を図ることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標② 上げる	加入推進を積極的に行い、事業者や従業員の福利厚生に寄与する。中小企業共済の加入口数の目標値をあげる。		
労働保険事業	労働保険料の申告納付その他各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び適正な徴収をはかることを目的とする。	委託事業者数 48事業所127名	小規模事業者等	指標 委託事業所数 (達成度 102.1 %)	47	実績数値 48	指標 (達成度 %)			労働保険に関する事務手続きなどを代行することにより、小規模事業者等の事務負担を軽減し、その適正な運用をはかることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標② 上げる	労働保険に関する知識を深めてもらいながら、引き続き未加入事業者の解消に努める。		
税務関係団体指導事業	青色申告会・間税会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	確定申告書の受付件数130件	小規模事業者等	指標 確定申告受付件数 (達成度 130.0 %)	100	実績数値 130	指標 (達成度 %)			青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勧奨を行い、確定申告の受付件数の増加をはかることで小規模事業者等の税務の知識を高めることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 上げる	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勧奨を行い、確定申告の受付件数増加を目標とする。		
部会・委員会事業	各部会事業は商工会の根幹をなす組織の一つであり、その大半は小規模事業者である。これら部会事業を積極的に行うことは、小規模事業者の経営改善に直接繋がるものである。	商業部会開催回数3回 工業部会開催回数4回	小規模事業者等	指標 商業部会開催回数 (達成度 50.0 %)	6	実績数値 3	指標 工業部会開催回数 (達成度 66.7 %)	6	実績数値 4	商業部会を中心に地域ブランドの確立に向け部会を開催した。地域ブランド発掘のため会員事業所から事業所PR動画を募集し、魅力ある商品の発掘を行った。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	商業部会を中心に地域内の魅力ある商品を選定し、ブランド化を目指していく。		
専門家派遣課題解決事業	小規模事業者の高度な相談内容に対して、解決のために経営に関する専門家を事業所へ派遣して、技術や知識提供を支援することを目的とする。	専門家派遣数12回	小規模事業者等	指標 専門家派遣数 (達成度 80.0 %)	15	実績数値 12	指標 (達成度 %)			専門家派遣を利用した事業者が事業計画書を策定し、高い確率で補助金の申請、採択を受けることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	課題解決の一助として活用してもらい、高度な相談やニーズに対しても解決をはかる。次年度より専門家派遣を事業計画策定事業で実施するため、目標値を下げる。		
展示会・商談会支援事業	豊田市内の1商工会議所・6商工会が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売をする展示会を開催することを目的とする。また、近隣ビジネスフェアへの参加支援やアンテナショップ等への出展支援を行い、新たな需要の開拓に寄与する。	【物産展等出展】 ・とよたの特産品展 ・市町村フェア出展 ・あいちまるっと！マルシェ出展 ・小牧基地オープンベース 出展事業者：8事業者（延べ） 【アンテナショップ出展】 ・まるっと！あいち ・愛・地球博ロタンダ風ヶ丘 出展事業者：3事業者（延べ）	小規模事業者等	指標 展示会出店事業者数 (達成度 220.0 %)	5	実績数値 11	指標 (達成度 %)			本事業を通じて商品の陳列方法や販売促進のノウハウを習得することができた。また商品開発事業に取組み一定の成果を得ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標② 上げる	次年度以降は消費喚起として様々なイベントや展示会の開催が期待できる。多くの事業者の販路開拓を支援するため、目標値を上げる。		

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考										
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等									
事業計画策定支援事業	小規模事業者の価値観を明確にし、自社の経営理念を確立し、経営の強みと弱みを把握・理解した上で、課題解決のために必要な取り組みについての事業計画策定を支援する。創業者に対し、経営知識の向上を目的に創業相談会を開催し、創業事業計画の策定支援を行うことにより円滑な事業展開をはかる。なお、創業相談会に関しては第2創業者にも参加できるよう対応する。また、今後予想されるデジタル産業への変化に対応するため、DXの必要性や基礎知識を習得するための相談会等を実施する。	事業計画策定相談会 実施時期：8月9日 参加人数：3人 創業計画策定相談会 実施時期：11月26日 参加人数：2人 DX推進相談会 実施時期：10月7日 参加人数：7人	小規模事業者等	指標	事業計画策定相談会参加者数 (達成度 60.0 %)			指標	創業計画策定相談会参加者数 (達成度 40.0 %)			事業計画、創業計画の策定支援を行うことにより経営計画に沿った補助金の申請に取り組む事業者が多くあった。また、計画の策定にあたり、DXへの取り組みを積極的に進めるためのDX推進セミナーを実施した。今後予想されるデジタル産業への変化に対応するための第一歩となった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	C	事業者への調査結果	満足度	B	補足	目標①	廃止	事業計画、創業計画の策定支援を行い、経営計画に沿った補助金の申請に取り組む。創業支援の実績数を上げるため創業者の目に留まる創業支援施策を検討する。目標を計画策定数とする。	○
				目標数値	5	実績数値	3	目標数値	5	実績数値	2				目標達成度	C		必要性	B		実施方法①	実施方法②		
調査・広報事業	小規模事業者の経営状況を把握するため経済動向調査を実施する。また小規模事業者への施策、制度を周知するためホームページ等を活用し情報提供を実施する。	経済動向調査の実施 50事業所 ホームページ、公式LINEによる情報発信	小規模事業者等	指標	調査事業所数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			経営動向調査を実施することで地区内小規模事業者の経済動向を把握することができた。調査結果をホームページ等に掲載することで地区内の経済動向についての情報提供を行えた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価	B	事業者への調査結果	満足度	A	補足	目標①	現行どおり	地区内事業者の経営動向調査の精度を上げるためにヒアリング項目の見直しやヒアリング方法を検討する。	○
				目標数値	50	実績数値	50	目標数値		実績数値					目標達成度	A		必要性	A		実施方法①	実施方法②		
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値		目標達成度	A	必要性	A	満足度	A	補足	現行どおり	現行どおり				